

平成25年6月19日

「大学生のための証券・金融セミナー」の開催についてのお知らせ

本協会では、全国の大学生・大学院生等を対象に、別紙のとおり、「大学生のための証券・金融セミナー」を開催いたしますので、お知らせ申し上げます。

本セミナーは、証券・金融分野と関わりのない経済学部以外の大学生を中心に幅広く、証券投資の重要性を認識してもらうために、パーソナルファイナンスの重要性及び考え方を踏まえたうえで、「投資の意義」、「社会的責任投資」、「証券市場の役割」、「NISA（少額投資非課税制度）」及び「確定拠出年金の基礎知識」などについて知識をもってもらい、深めてもらうことにより、より幅広く金融経済知識を取得し、これらの知識を活用して、効果的に金融資産を管理・運用する能力・行動力を身に付けた大学生等を育成することを目的としております。

なお、当日の来場者以外の方にも、本セミナーの模様を視聴いただけるように、インターネット動画サイト（USTREAM）において、リアルタイム配信をいたします。また、同セミナーの内容を編集の上、本協会HP等におけるオンデマンド配信も予定しております。

本セミナーの詳細につきましては、以下の問い合わせ先まで、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

記

【大学生のための証券・金融セミナー】

日 時：平成25年9月17日（火）10時00分～18時00分

場 所：東京証券会館9階会議室

（東京都中央区日本橋茅場町1-5-8）

対象者：全国の大学生・大学院生

方 式：会場での開催及び全国同時インターネット（USTREAM）配信

以 上

平成 25 年度「大学生のための証券・金融セミナー」の開催について

1. セミナー名：「大学生のための証券・金融セミナー」
2. 対 象 者：大学生及び大学院生等（すべての学部・学科等）
3. 開 催 目 的：パーソナルファイナンスの考え方を踏まえたうえで、証券投資の重要性を認識してもらうために、投資の意義、社会的責任投資、証券市場の役割やNISA（少額投資非課税制度）、確定拠出年金の基礎知識などに関するテーマを中心としたセミナーを開催することにより、より幅広く金融経済知識を習得し、これらの知識を活用して、効果的に金融資産を管理・運用する能力・行動力を身に付けた大学生等を育成することを目的とする。
4. 主 催：日本証券業協会
5. 開 催 日 時：平成 25 年 9 月 17 日（火） 10 時 00 分～18 時 00 分
6. 会 場：東京証券会館 9 階会議室（東京都中央区日本橋茅場町 1 丁目 5－8）
7. 募 集 人 員：50 名
8. 当日スケジュール及び講師等：

時間	講演テーマ等（仮）	講 師
9:30～9:50	受 付	
9:50～10:00	主催者挨拶	
10:00～11:40	〈第 1 部：講演〉 「自分らしく生きる！ライフプラン・マネープランについて」	内山 FP 総合事務所 代表 内山 貴博 氏
11:40～12:40	昼 食	
12:40～14:50	〈第 2 部：見学〉 証券会社（調整中）	
15:00～16:30	〈第 3 部：講演〉 「初心者からの金融・経済」	信州大学 経済学部 教授 真壁 昭夫 氏
16:30～18:00	参加者交流会	

9. 各プログラム内容等

<第1部 講演>

講 師：内山 FP 総合事務所 代表 内山 貴博 氏

テーマ：「自分らしく生きる！ライフプラン・マネープランについて」

内 容：【講演 50 分】

クイズを出題するなどして、参加型の学習ができるようなプログラムとする。

【質問 10 分】

【グループワーク 40 分】

ライフプランやマネープランに関するテーマをもとに、グループワークを行う。

講師は各グループを回り、質問等に対応する。

<第2部 見学>

見学先：証券会社

内 容：①ディーリングルームの見学

②証券会社の仕事・CSR の取組み等についてのレクチャー

<第3部 講演>

講 師：信州大学 経済学部 教授 真壁 昭夫 氏

テーマ：「初心者からの金融・経済」

内 容：【講演 80 分】

①日本経済から考える資産運用の必要性

②投資の意義、社会的責任投資、証券市場の役割

③NISA（少額投資非課税制度）や確定拠出年金の基礎知識

【質疑応答 10 分】

<参加者交流会>

飲物・軽食等を用意し、参加者と講師の交流の場を設ける。

10. 映像の配信について：

（１）セミナー第3部の講演の模様を USTREAM 等のインターネットサイトで、ライブ配信する。

（２）セミナー開催後は本協会 HP 及び YouTube において、オンデマンド配信を行い、コンテンツの有効活用を図り、情報を拡散する。

11. 参 加 費：無料（会場までの交通費は参加者負担）

12. 周 知 方 法：

（１）各大学のキャリアセンターに対する周知依頼

（２）証券研究学生連盟と連携した金融・経済系ゼミナールへの周知

（３）本協会 HP 及び SNS に案内を掲載

（４）インターンシップ募集サイト（ブンナビ（文化放送就職ナビ）キャリアカレッジ等）におけるメール案内の配信

（５）過去のパーソナルファイナンスセミナー参加者に対するメール案内の配信

以 上

金融・証券教育支援活動概況
(平成24年度事業実績等)

平成25年6月

日本証券業協会
金融・証券教育支援本部

日本証券業協会の普及・啓発推進体制

日本証券業協会の機能・役割と普及・啓発事業

日本証券業協会（以下「本協会」）（※１）は、協会の行う有価証券の売買その他の取引等を公正かつ円滑ならしめ、金融商品取引業の健全な発展及び投資者の保護に資することを目的として事業を推進しており、この目的を達成するための事業の一環として、金融商品及び金融指標並びに金融商品市場に関する知識の普及及び啓発を図ることとされています。

（※１）本協会は、金融商品取引法に基づく認可金融商品取引業協会であり、金融に係る知識の普及、啓発活動及び広報活動を通じて、金融商品取引業の健全な発展及び投資者の保護に努めなければならないものとされています（金融商品取引法第 77 条の 4）。

普及・啓発の推進体制

金融に係る知識の普及・啓発活動については、本協会の理事会から権限を委任されている金融・証券教育支援委員会（※２）の実施機関である金融・証券教育支援本部（※３）が分掌しており、証券知識普及プロジェクト（※４）参加団体等と連携を図りつつ活動を行っています。

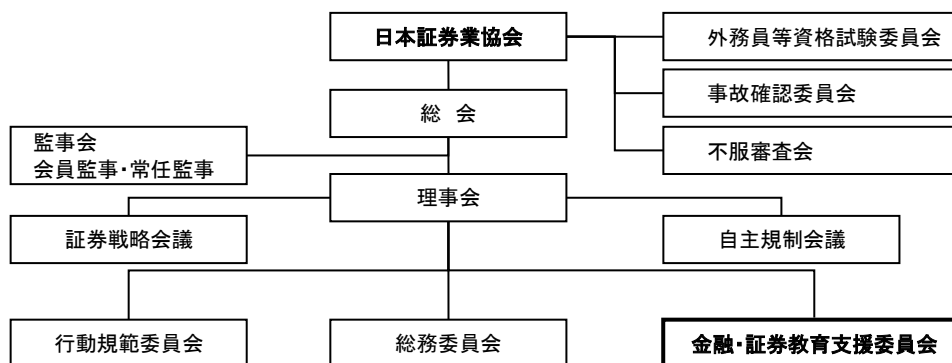
（※２）金融・証券教育支援委員会は、本協会の定款に基づき、理事会より、金融商品及び金融指標並びに金融商品市場に関する知識の普及及び啓発を図る業務に係る事項を決議する権限を委任されています。

【注】平成 23 年 7 月、それまで本協会の附属機関として位置付けてきた金融・証券教育広報委員会を、理事会から権限を委任される位置付けに変更するとともに、金融・証券教育の普及・啓発活動に特化した「金融・証券教育支援委員会」と改め、より中立・公正な観点から、金融・証券教育への支援を推進する組織・体制を構築しました。

（※３）金融・証券教育支援本部（以下「当本部」）は、中立かつ公正な立場から金融商品及び金融指標並びに金融商品市場に関する知識の普及及び啓発を行うために、金融・証券教育支援委員会の実施機関として設置されています。なお、当本部は支部を置くことができ、各地区に支部が設置されています。

（※４）証券知識普及プロジェクトは、平成 13 年 2 月に創設された「証券知識啓発 5 団体プロジェクト」を発展的に名称変更したものであり、中立かつ公正な立場から長期的・継続的に証券知識の普及・啓発を図ることを目的に、学校における金融経済教育に役立つ各種学習教材の提供や一般消費者向けのセミナー・講演会の開催等、多岐にわたり活動しています。現在の参加団体は、本協会、日本取引所グループ、東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所、札幌証券取引所、投資信託協会及び名証取引参加者協会の 9 団体です。

本協会の主要会議体



金融・証券教育支援本部の事業項目

当本部の事業項目は下表のとおりです。

事業項目	事業の種類
1. 学校向け普及・啓発事業	—
(1) 教材の開発・提供	証券知識普及プロジェクトによる共同事業
(2) 学校長・教員向け事業	協会単独事業/証券知識普及プロジェクトによる共同事業
(3) 金融・経済教育の普及・啓発事業	協会単独事業/証券知識普及プロジェクトによる共同事業
(4) 大学生向け支援事業等	協会単独事業
(5) 国際的な投資教育活動への参画	〃
2. 一般向け普及・啓発事業	—
(1) 「投資の日」記念イベント等の開催及び広報活動	証券知識普及プロジェクトによる共同事業
(2) 刊行物制作	協会単独事業
(3) インターネットによる情報提供	協会単独事業/証券知識普及プロジェクトによる共同事業
3. その他事業	関係団体との連携事業

1 — (1) 教材の開発・提供

視聴覚教材「おだんご娘。とフシギな経済テレビジョン～株式会社とお金のしくみ～」

平成 22 年度から、中学・高校生のほか、小学校高学年でも楽しく学ぶことができる、ストーリー性を持った金融・証券の解説用視聴覚教材として「おだんご娘。とフシギな経済テレビジョン～株式会社とお金のしくみ～」を提供しています。

平成 24 年度は、全国 849 校、883 本の教材提供を行いました。



◆「おだんご娘。とフシギな経済テレビジョン」教材 DVD

体験型教材「みんなで体験！株式会社とお金のしくみ」

主に中学・高校生を対象に、市場経済の仕組みや金融のはたらき、証券市場の役割などについて、生徒一人ひとりが体験を通じて体系的に学ぶことができる教育教材「みんなで体験！株式会社とお金のしくみ」を平成 16 年度から提供しています。

平成 24 年度は、全国 115 校、生徒・学生数にして 7,581 名へ教材提供を行いました。



◆「みんなで体験！株式会社とお金のしくみ」教材一式



◆「みんなで体験！株式会社とお金のしくみ」実習の様子

体験型教材「株式会社をつくろう！～ミスターXからの挑戦状～」(中学校向け)

経済の主体の1つである会社視点にあて、金融や経済の仕組みと働きについて、関心と理解を深めながら学べる体験型教材「株式会社をつくろう！～ミスターXからの挑戦状～」を本年度から提供しています。本教材は主に中学生を対象に、基礎的な知識を身につけられるよう構成するとともに、ワークを通じて自分の考えを表現したり、他者とのコミュニケーションを図れるように工夫しています。

平成24年度は全国301校、生徒・学生数にして28,727名へ教材提供を行いました。



◆「株式会社をつくろう！～ミスターXからの挑戦状～」教材一式

体験型教材「ケーザイへの3つのトビラ 経済探求の旅に出よう」(高等学校向け)

発達段階に応じた教材として、主に高等学校向けに「株式会社」、「金融」、「外国為替・金利・景気」を分かりやすく学べる、体験型教材「ケーザイへの3つのトビラ 経済探求の旅に出よう」を制作しました。

本教材は、金融の基本的な仕組みの理解と、得た知識を身の回りの出来事やニュースと関連付けて考えて意見が持てるようになることを学習の目標としており、公民的分野のカリキュラムに配慮して、1つのテーマについて1時限(50分)で完結する展開で、教育現場で無理なく導入できるものとなっています。

同教材は平成25年4月から主に高等学校へ向けて提供を開始しています。



◆「ケーザイへの3つのトビラ 経済探求の旅に出よう」教材

株式学習教材

株式の模擬売買を通じて生きた経済の姿を知り、投資という経済行為を体験するなかで、経済の動きや社会の仕組みを学習する「株式学習ゲーム」を平成8年度から中学・高校生を主な対象として提供しています（東京証券取引所と共同）。平成24年度は、全国783校、生徒・学生数にして40,140名の参加実績がありました。

また、株式学習ゲームを実施した学校の生徒や教員を対象とした感想文・小論文を募集したところ、感想文で1,557点、小論文で8点の応募がありました。入賞者として、生徒16名（中学生7名、高校生9名）及び教員5名を表彰しました。



◆「株式学習ゲーム」教材一式



◆「株式学習ゲーム」(<http://www.ssg.ne.jp/>)

1－（2）学校長・教員向け事業

学校長向けセミナー

平成21年度から、学校運営責任者の学校における金融経済教育の必要性への理解を深めてもらうとともに、金融経済教育の導入を促進することを目的に、「金融経済教育に関する学校長セミナー」を開催しています。

平成24年度は8月に東京で中学校・高等学校長並びに副校長・教頭を対象に開催し、46名の参加実績がありました。

また、セミナーの一部を収録した動画を本協会ホームページ上に掲載しています。



◆セミナーの講義風景

社会科・公民科等担当教員向けセミナー

①金融経済教育フォーラム

主に中学校・高等学校の教員や教育関係者を対象に、毎年冬休み期間に、「金融経済教育フォーラム」を全国の主要都市で開催しています。本フォーラムは、金融経済教育の意義に関する講演や教育現場に提供している教材の実践事例等を紹介し、社会科等の授業に役立ててもらうこと



◆フォーラムの講義風景

を目的としています。

平成 24 年度は、全国 9 会場で開催し、374 校、441 名の参加実績がありました。セミナーの一部を収録した動画を「金融経済ナビ」ホームページ上に掲載しています。

②金融経済夏期セミナー

中学校・高等学校の公民科・社会科等の教員を対象に、毎年夏休み期間に、学校における金融経済教育の充実を図るため、最近の経済及び金融・資本市場の動向と課題等について、学校の授業の指導内容に即したタイムリーな情報を提供し、今後の授業に役立ててもらうことを目的に、「金融経済夏期セミナー」の開催及び開催協力を行っています。平成 24 年度は、前年度の参加者から要望が多かった企業施設見学を取り入れるなど工夫をし、全国 9 会場で開催して 465 校、599 名の参加実績がありました。



◆セミナーの講義風景

また、中学校・高等学校の教員を対象に、最新の金融・経済に関する講義等で構成される「教員のための金融・経済土曜セミナー」を大阪で 1 回開催し、37 名の参加実績がありました。

教員による金融経済教育研究活動への支援

中学校・高等学校の教員等が集まり、主に金融・経済分野を対象に自主的な研究を行う教員研究会への支援活動を行っています。平成 24 年度は大阪で 4 回、名古屋で 7 回講習会や見学会を開催し、266 校 333 名の教員が参加しました。

教育関係者向けインターンシップ

証券に興味を持つ中学校・高等学校の教員等を対象に、証券の基本に関する講義、提供教材の実習や取引所施設の見学などを通じて、証券界に対する理解を深めてもらうことを目的に、「教育関係者向けインターンシップ」を開催しています。

平成 24 年度は、同インターンシップを東京（3 日間コース）、大阪（1 日プログラム）、名古屋（1 日セミナー）で各 1 回開催し、59 名の参加実績がありました。



◆教材実習の様子

1－（3）金融・経済教育の普及・啓発事業

教育関係者向け情報の提供

金融経済教育の必要性、提供している教材の有用性等を広く教育現場にアピールするため、教育関係者向け情報誌「レインボーニュース」を年3回刊行しています。

著名人の対談や授業で使える経済コラム、教員の授業実践レポート、企業訪問記など、学校の授業に役立ててもらえる内容となっています。



◆「レインボーニュース」
表紙(第21号)

金融経済教育のウェブサイト「金融経済ナビ」

中学校及び高等学校の教員・生徒向けの金融経済教育のための Web サイト「金融経済ナビ」を提供しています。

生徒向けには証券や金融について学ぶことができる「まなぼう！金融経済」（マンガやクイズによる基本知識の講義）や「ウォーキング in 金融経済タウン」（諸機関の解説）、動画「熱血！ケーザイ家族!!」のほか、教育関係者向けに上記の教材を授業に取り入れるための手引きや、証券知識普及プロジェクトが提供する「教材」や「イベント」に関する情報コーナー等を設けています。平成24年度は、クイズ形式で遊びながら学べるコンテンツとして「クイズ金融経済 de BINGO」を作成しました。

また、本教材は、公益財団法人消費者教育支援センターが実施している第8回「消費者教育教材資料表彰」のWeb サイト部門で優秀賞を受賞しています。



◆「金融経済ナビ」(<http://www.kinyu-navi.jp/>)

生徒・学生等向けセミナー・見学会

小・中学生及びその保護者を対象に、金融・証券の仕組み等の理解を促進するため、施設見学や証券に関する学習教室を盛り込んだイベントを夏休みと春休みに開催しています。

平成24年度は、東京で2回、大阪で4回開催し、257名の参加実績がありました。



◆イベントでの教材実習の様子

1－（４）大学生向け支援事業等

パーソナルファイナンスセミナー

社会人入りを控えた大学生や新社会人を対象に、金融リテラシーを有する自立した社会人を養成することを目的として、「パーソナルファイナンスセミナー」を開催しています。

平成 24 年度は、東京で開催し、82 名の参加実績がありました。

セミナーの様子は、インターネット動画サイトで配信し、3,014 アクセス（平成 25 年 3 月末現在）の実績がありました。また、セミナーの様子を録画・編集し、本協会ホームページ上に掲載しています。



◆セミナーの講義風景

「証券ゼミナール大会」の開催支援等

大学生の証券研究サークルの全国組織である「全日本証券研究学生連盟」の活動に対する支援を継続的に実施しています。同連盟の最大のイベントで毎年 12 月に開催される「証券ゼミナール大会」には、平成 24 年度は全国の 31 大学、708 名の参加実績がありました。

また、3つのブロック別（東京、大阪、名古屋）の証券研究学生連盟が開催する春季・秋季セミナー等の開催も支援しています。



◆証券ゼミナール大会の様子

1－（５）国際的な投資教育活動への参画

投資家教育国際フォーラム(IFIE)との連携強化

投資家教育国際フォーラム（International Forum for Investor Education）の地域小委員会（Asian Forum for Investor Education）の運営委員会メンバーとして、同フォーラムが主催する会議・大会等において各国代表者と積極的に情報交換・議論等を行っています。

平成 24 年度は、5 月 20 日～22 日に韓国・ソウルで開催された投資家教育に関するコンファレンスに、3 月 21 日～23 日には、インド・ニューデリーでの地域小委員会のコンファレンスに参加しました。

2－（１）「投資の日」記念イベント等の開催及び広報活動

本協会では、平成8年に証券界が10月4日を「投資の日」と制定して以来、他の証券関係団体とともに推進する「証券知識普及プロジェクト」活動の一環として、一般市民の金融リテラシーの向上を図るため、毎年全国で「投資の日」記念イベントを開催しています。また、各地区では年間を通し地域特性を生かした、各種イベントも開催しています。

ラジオ番組放送・提携イベントの開催

日頃、証券投資に馴染みのない方に対し、金融・証券知識の普及・啓発及び金融リテラシーの向上を図ることを目的に、10月～12月の3ヶ月間、証券投資の基礎に関するラジオ番組をTBSラジオ系列及びTOKYO FM系列により全国に放送しました。番組の内容は放送後も聴取可能とするため、ポッドキャストを掲載しました。

加えて、ラジオ番組と提携したイベントを3会場で実施しました。

◆ラジオ番組の放送

<TBSラジオ>

○放送日 10月6日～12月29日 毎週土曜 AM8:00～8:15（全13回）

○土曜朝イチエンタ。『堀尾正明+PLUS!』内（TBSラジオ系列全国33局）

番組名：「あなたに+PLUS! 資産運用」

○出演者 堀尾正明氏、秋沢淳子氏、大竹のり子氏（FP）

<TOKYO FM>

○放送日 10月4日～12月27日 毎週木曜 AM7:20～7:27（全13回）

○「クロノス」内（TOKYO FM系列38局）

番組名：「追跡ライフ&マネー」

○出演者 中西哲生氏、高橋万里恵氏、藤川太氏（FP）

◆ラジオ番組連携イベント



◆東京会場



◆大阪会場

○開催数 3地区3会場で実施
（東京は公開録音）

○参加者数 510名

○ゲスト出演者	東京会場	森三中
	大阪会場	ロザン
	名古屋会場	ペナルティ



◆名古屋会場

「投資の日」記念イベント（講演会・トークショー等）

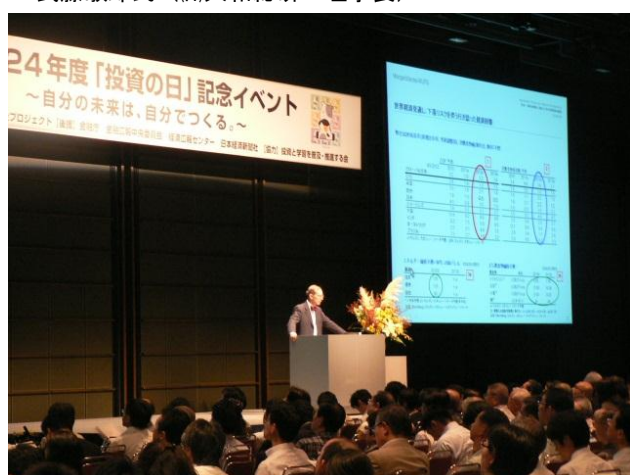
平成 24 年度は、9 月下旬から 11 月上旬にかけて、全国 17 都市 24 会場で「投資の日」（10 月 4 日）記念イベントを開催しました。イベントでは、現在の国内外の経済・金融動向やライフプラン・マネープラン等をテーマとする講演会やトークショー等を行い、4,469 名の参加実績がありました。また、会場では未公開株勧誘への注意喚起に関するお知らせを行いました。



◆平成 24 年 10 月 4 日（木）【昼の部】
東京国際フォーラム ホール B 7
講演／「世界の金融・経済の見通しについて
～日本経済復活への道しるべ～」
武藤敏郎氏（株大和総研 理事長）



講演／「見過ごされている日本への投資の魅力」
武者陵司氏（株武者リサーチ 代表）



◆平成 24 年 10 月 4 日（木）【夜の部】
東京国際フォーラム ホール B 7
講演／「変身：将来を無視して暮らしてきた
世界経済の展望」
ロバート・フェルドマン氏
（モルガン・スタンレー M U F G 証券株）
チーフエコノミスト 兼 債券調査本部長）



トークショー／「お笑い証券・金融塾」
大竹のり子氏（FP）・内山貴博氏（FP）・北陽・W コロン

平成 24 年度「投資の日」記念イベントへの参加状況

地 区	会場数	参加者数
東 京	3 会場	1, 9 8 3 名
大 阪	3 会場	4 2 3 名
名古屋	4 会場	4 6 2 名
北海道	2 会場	6 3 5 名
東 北	1 会場	1 0 3 名
北 陸	3 会場	3 4 6 名
中 国	6 会場	2 3 2 名
四 国	1 会場	1 4 5 名
九 州	1 会場	1 4 0 名
合 計	2 4 会場	4, 4 6 9 名

「104(とうし)」バスツアー2012

「投資の日」記念イベントの1つとして、昨年のウォーキングツアーに引き続き、金融関連施設・史跡や「日本の近代資本主義の父」といわれた渋沢栄一氏に係わるスポット等を巡る「104(とうし)」バスツアー2012を実施しました。

平成24年10月4日(木)、5日(金)、13日(土)、14日(日)の4日間に各日2コース、合計8回実施し、273名の参加実績がありました。

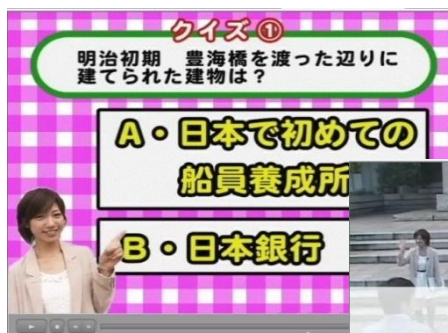
バスツアーでは、日本銀行、東京証券取引所といった金融施設の見学や、渋沢史料館など渋沢栄一氏に縁のある史跡ポイントを巡りながらクイズを出題し、最後にクイズ正解者のなかから優秀者を表彰しました。



10月4日(木)に大阪証券取引所 JASDAQ-OSE プラザにて、出発式(主催者挨拶、とうしくん登場ほか)を開催し、実施の様子は、東京メトロポリタンテレビジョン「TOKYO MX NEWS」でとりあげられました。



また、10月4日(木)のコースにはタレントの石井寛子氏が帯同してツアーを盛り上げ、バスツアー終了後、ツアーの様子をオンデマンド配信することによって、当日参加できなかった方にも楽しんでもらえるように本協会ホームページ動画掲載を行いました。



投資に関する特集記事広告・ポスター

日本経済新聞朝刊全国版（10月4日）及び日経ヴェリタス（10月7日）に本協会 前会長とフリーアナウンサーの西尾由佳理氏との金融リテラシーの必要性等に関する対談記事及び投資（104）にちなんで「104（とうし）の疑問」を掲載しました。当該疑問の回答については、本協会 特設サイトに掲載することで、特設サイトへの誘導を図りました（アクセス数 平成25年3月末現在 4,607件）。

また、金融リテラシーの普及・啓発に関するポスター（通年掲示可能な内容）を希望協会員（178 社）に対して店頭掲示用として無償配布（5,264 枚）しました。

[illegible]

◆日本經濟新聞特集記事



日本証券業協会

Japan Securities Dealers Association

[ホーム](#)
[お問い合わせ](#)
[加盟・加盟申込](#)
[7. 研修講座](#)

[協会概要](#)
[ホーム](#)
[よくある質問](#)
[研修講座](#)
[お問い合わせ](#)
[加盟・加盟申込](#)
[加盟のご案内](#)
[加盟のご案内](#)

トクシ

2014の疑問に お答えします。

最新の疑問から上級者の疑問まで、いろいろ解！ すべて読んだら、あなたも「投資王」です。

入門編

初級編

中・上級編

特別編

1. 投資ってなに？

2. 投資の種類

3. 投資のリスク

4. 投資のメリット

5. 投資のデメリット

6. 投資のデメリット

7. 投資のデメリット

8. 投資のデメリット

9. 投資のデメリット

10. 投資のデメリット

11. 投資の種類

12. 投資の種類

13. 投資の種類

14. 投資の種類

15. 投資の種類

16. 投資の種類

17. 投資の種類

18. 投資の種類

19. 投資の種類

20. 投資の種類

※このページに掲載されている内容は、監修者による監修に基づいたものであり、投資に関するものではありません。

日本証券業協会

Japan Securities Dealers Association

〒100-0001
東京都千代田区千代田1-1-1

TEL 03-5561-1111
FAX 03-5561-1112

© Japan Securities Dealers Association. All Rights Reserved.

◆本協会 特設サイト

[illegible]

◆ポスター

「投資の日」記念イベント特設サイト

本協会ホームページ内に「投資の日」記念イベント特設サイトを開設し、「投資の日」記念イベントに関する告知及びPR、各イベント申込サイトへの誘導を図りました（アクセス数 平成25年3月末現在 88,739件）。



掲載内容：・ラジオ番組・イベント案内
・各地区イベント案内
・「104（とうし）」バスツアー2012案内
・「104（とうし）」の疑問」と回答
・証券会社・金融機関主催セミナー など

事後調査

「投資の日」記念イベントの効果測定として、イベント参加者に対して、イベント参加後の投資行動等に関するアンケート調査を昨年度に引き続き実施しました。

同調査には、2,088名から回答があり、その内容をみると、投資未経験者の約5割が投資に対する行動を起こしたほか、未経験者と経験者を合わせた全体の約6割がより多くの参加型イベントの開催、約3割が引き続き中立・公正な情報の提供、講師・イベント内容の工夫、約2割がインターネットの活用を希望していました。

各地区における普及・啓発イベント

「投資の日」記念イベントに加えて、年間を通じ、各地区において普及・啓発イベントを全国 10 都市 11 会場で開催し、1,643 名の参加実績がありました。



◆平成 25 年 2 月 23 日(土) ラフォーレミュージアム原宿
講演＋トークショー／「未来の私のために
“資産運用美人”を目指そう」
花輪陽子氏 (FP)・阿部哲子氏 (フリーアナウンサー)



◆平成 24 年 7 月 18 日(水) プリーゼプラザ 小ホール
講演＋トークショー／「女性のための暮らしを見直す
マネープラン」
北野琴奈氏 (FP)



◆平成 25 年 2 月 9 日(土)【夜の部】
ウインクあいち 小ホール 2
講演／「今話題の経済ニュースから学ぶ
～日本経済・世界経済の現状～」
田嶋智太郎氏 (経済アナリスト、(株)アルフィナンツ 代表取締役)

平成 24 年度地区独自イベントへの参加状況

地 区	会場数	参加者数
東 京	1 会場	2 0 5 名
大 阪	3 会場	4 4 8 名
名古屋	2 会場	1 7 8 名
東 北	1 会場	2 1 0 名
中 国	2 会場	2 8 4 名
四 国	1 会場	2 5 4 名
九 州	1 会場	6 4 名
合 計	1 1 会場	1, 6 4 3 名

未公開株勧誘への注意喚起に関する周知活動

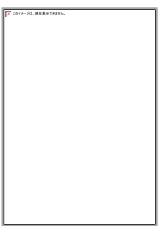
投資家保護のための周知活動として未公開株勧誘に関する注意喚起リーフレットを全ての普及・啓発イベントで配布するとともに、未公開株等の勧誘被害の状況や手口等の説明による注意喚起のお知らせを行いました。

2－（２） 刊行物制作

証券知識の普及・啓発を図るため、株式、債券、投資信託に関する一般市民向けの小冊子等を作成し、有償頒布しています。①～⑥の刊行物については、平成 23 年 10 月から個人向けに限り無償化を実施しています。また、本協会又は証券知識普及プロジェクトが主催するイベントの来場者にも無償頒布しています。

さらに、利用者の利便性向上のため、刊行物の PDF ファイル（全ページ）を本協会ホームページで無料で閲覧できるようにしています。

現在発行している刊行物

	刊行物の種類（版／体裁）	頒布価格（税込み）	平成 24 年度 作成部数
	①「はじめての！資産運用」 新社会人を中心とした 20 代～30 代の若年層を主な対象として、ライフプラン・マネープランの大切さや金融商品の基礎知識を平易に分かりやすく解説した入門書です。 （第1版／A4判34ページ）	@100円	30,000部
	②「証券投資ワールド ～上手な運用へのガイド～」 証券会社の取扱商品をはじめ、代表的な金融商品を解説した総合ガイドブックです。各商品のしくみや特徴を分かりやすくまとめています。 （第16版／B5判48ページ）	@80円	—
	③「株式投資の基礎知識」 株式投資を行うにあたっての心構えから、具体的な情報収集や指標の見方など株式投資の基礎知識を解説しています。 （第23版／B5判40ページ）	@80円	16,000部
	④「女性のためのスタイリッシュ投資ライフ」 将来の豊かな暮らしを実現するための「マネープラン」の考え方や、証券投資などによる資産運用についての初歩的なノウハウを紹介しています。 （第3版／B5判48ページ）	@100円	—
	⑤「確定拠出年金入門」 確定拠出年金のしくみや特徴、留意点などについて分かりやすく解説した入門書です。 （第1版／A4判20ページ）	@100円	6,500部
	⑥「個人投資家のための証券税制 Q&A 平成 24 年度版」 証券税制を個人投資家向けに分かりやすく、イラストや図解入りの Q&A 方式でコンパクトに解説した冊子です。 （第1版／A4判20ページ）	@50円	73,000部

	⑦「平成 24 年度改訂対応版 証券税制ガイド」 証券税制について、図表やQ&Aを交えて個人投資家にも分かりやすく詳細に解説した冊子です。 (第1版／B5判153ページ)	@400円	6, 600部
--	---	--------------	----------------

※②「証券投資ワールド」…在庫が無くなり次第、廃刊の予定。

※④「女性のためのスタイリッシュ投資ライフ」…在庫が無くなり次第、廃刊の予定。

2－（3）インターネットによる情報提供

つぶやきシローの人生すごろく

平成 25 年 2 月、若年層を主な対象として、人生で起こり得る様々なイベントごとに、どのようなライフプラン、マネープランを立てれば良いかをクイズ形式で楽しく学べる動画コンテンツ「つぶやきシローの人生すごろく」を新規に制作し、本協会ホームページに特設サイトを開設しました。また、新たに YouTube において本協会公式チャンネルを開設し、同動画コンテンツの掲載拡散を図りました。

アクセス数 特設サイト 195,755 件、YouTube 104,602 件、合計 300,357 件（平成 25 年 3 月末現在）



動画コンテンツ

「投資の日」記念イベント等のセミナー・イベントの様子を撮影した動画や、つぶやきシローの人生すごろく等のコンテンツを本協会ホームページに掲載しました。

①セミナー・イベント風景動画配信

セミナー・イベント	コンテンツ名	内容
教育関係者向けセミナー	「金融経済教育に関する学校長セミナー」	テーマ:「自立した社会人育成に向けて～なぜ金融経済教育なのか～」 講師:帝京大学 経済学部 教授 石毛宏氏
	「金融経済教育フォーラム」	テーマ:「日本経済の現状と今後の課題」 講師:信州大学 経済学部 教授 真壁昭夫氏
大学生向けセミナー	「大学生・新社会人のための パーソナルファイナンスセミナー」 ～動画で学べる！ライフプランとマネープラン～	テーマ:「パーソナルファイナンスセミナー～動画で学べる！ライフプランとマネープラン」 ・社会人に必要なお金の知識（第1部） ・資産運用について（第2部） 講師:ファイナンシャル・プランナー 内山貴博氏 司会:石井寛子氏(タレント)
一般向けセミナー・イベント	「賢くお金を育てる HAPPY☆マネーライフレッスン」	テーマ:「未来の私のために“資産運用美人”を目指そう」 講師:ファイナンシャル・プランナー 花輪陽子氏 司会:阿部哲子氏(フリーアナウンサー)
	「投資の日」記念イベント	テーマ:「変身:将来を無視して暮らしてきた世界経済の展望」 講師:モルガン・スタンレーMUFG 証券(株) チーフエコノミスト兼債券調査本部長 ロバート・フェルドマン氏
	投資の日記念イベント 「104(とうし)バスツアー2012」	内容:日本の近代資本主義に関わりの深いスポットをめぐり、経済や金融の発展と歴史を体感できるバスツアー 出演:石井寛子氏(タレント)
	投資の日記念イベント 「お笑い証券・金融塾」	テーマ:「自分の未来は、自分でつくる。」 講師:ファイナンシャル・プランナー 大竹のり子氏 ファイナンシャル・プランナー 内山貴博氏 ゲスト:北陽(タレント)、Wコロ(タレント) MC:白井京子氏(TBS954 情報キャスター)
	「いちから学ぶ資産運用入門セミナー ～マネープランが学べるファーストステップセミナー(第1回)(第2回)～」	テーマ: ・「マネープランの構築と資産運用～将来に備えてどのくらいお金が必要かご存知ですか?」(第1回) ・「運用方法と金融商品～家計の見直しによる効果的な積立投資法や運用商品とは?」(第2回) 講師:F.I.T コミュニケーション 代表取締役 濱田修爾氏 F.I.T コミュニケーション 取締役副社長 岡田恵氏
	「目からウロコのパーソナル・ファイナンス」	テーマ:パーソナルファイナンス 講師:公認会計士 山田真哉氏

②学習動画コンテンツ

掲載 Web サイト	コンテンツ名	内容
金融経済 ナビ	ほぼ3分間劇場「熱血！ケーザイ家族!!」	第1話「金融資産とファッションの選び方は同じ？」の巻 第2話「リスクは分散しよう！」の巻 第3話「株主になった！」の巻 第4話「株価はなぜ動く？」の巻 第5話「情報が勝負！」の巻 第6話「決算書は会社の成績表？」の巻 第7話「円高・円安って何？」の巻 第8話「その時 株価は動いた！外国為替と株価」の巻 第9話「金利はなぜ動くの？」の巻 第10話「その時 株価は動いた！金利と株価」の巻 第11話「GDPって何？」の巻 第12話「景気はなぜ変動するの？」の巻 第13話「株価指数って何？」の巻 第14話「福袋とETFは同じ？」の巻 第15話「今の会社に求められているものは？」の巻
本協会ホーム ページ	よくわかる証券投資の基礎知識	第1話 証券投資入門 第2話 投資信託入門 第3話 株式投資入門 第4話 債券投資入門

③ゲームコンテンツ

	コンテンツ名	内容
ゲーム	つぶやきシンローの人生すごろく	このゲームは、人生で起こりうる様々なイベントごとに、どのようなお金が必要か、必要なお金を準備するために、どのようなライフプラン・マネープランを立てれば良いかを考え、進めていくゲーム。

(平成 25 年 5 月末現在 30 本掲載)

3 その他事業

金融・証券教育を推進する関係団体等で、お互いの事業の効率化等をも高める観点から、次のような連携事業を実施しました。

キット「社会人のためのマネープランガイド」

平成 24 年 7 月、これから社会人となる大学生、新社会人、若年層を対象に、ライフプラン、マネープランの重要性や金融商品及び確定拠出年金に関する基本的な知識の習得を図るため、各関係団体が発行する DVD や刊行物を一つに取りまとめたキット「社会人のためのマネープランガイド」を新規に制作しました。

平成 24 年度は計 4,000 部（当初 2,000 部＋追加 2,000 部）を制作・配布しました。



◆キットの内容（平成 25 年 3 月末現在）

- DVD 1. 「輝け 私のライフプラン！」（本協会、日本FP協会）
- 2. 「よくわかる証券投資の基礎知識」（本協会）
- 刊行物 3. 「若手社会人のマネー&ライフプランお役立ちハンドブック！」（日本FP協会）
- 4. 「はじめての！資産運用」（本協会）
- 5. 「株式投資の基礎知識」（本協会）
- 6. 「わかりやすい投資信託ガイド」（投資信託協会）
- 7. 「株式会社制度と証券市場のしくみ」（本協会）
- 8. 「知っていますか？東京証券取引所」（東京証券取引所）
- 9. 「確定拠出年金入門」（本協会、商工会議所年金教育センター）

金融経済の学習に関する Web コンテンツリンク集

各関係団体の金融経済の学習に関する Web コンテンツを利用者別・目的別に区分してリンク集を作成し、本協会ホームページに掲載しています。

◆参加団体

金融庁、知るぽると（金融広報中央委員会）、証券知識普及プロジェクト、東京証券取引所、大阪証券取引所、投資信託協会、日本証券業協会

**日本証券業協会**
Japan Securities Dealers Association

English > サイトマップ > お問い合わせ

? 日証協とは

検索

学ぶ
金融・証券に関する学習情報

調べる
各種市場関連の情報

知る
証券会社などの情報

備える
安心して投資するための情報

資料室
統計情報などの各種資料

日証協の活動
会長会見や政策提言など

現在位置 [ホーム](#) > [学ぶ](#) > 金融経済*学習お役立ちナビ

金融経済*学習お役立ちナビ

関連団体による金融・経済に関する学習リンク集です。

参加団体
金融庁、知るぽると（金融広報中央委員会）、証券知識普及プロジェクト、東京証券取引所、大阪証券取引所、投資信託協会、日本証券業協会



[セミナー・イベントに参加したい](#) / [読んで学習したい](#) (WEBテキスト) / [動画・アニメで学習したい](#) / [刊行物がほしい](#) / [DVDがほしい](#) / [講義録速速依頼したい](#) / [教材\(シミュレーション\)を利用したい](#) / [メールマガジンを購読したい](#)

セミナー・イベントに参加したい

一般の方向け	教育関係者向け	学生向け
▶ セミナーで学ぶ (金融広報中央委員会)	▶ 金融教育ステーション (金融広報中央委員会)	▶ 大学生向けプログラム (東京証券取引所)
▶ インターネット (証券知識普及プロジェクト)	▶ 先生のための夏休み経済教室 (東京証券取引所)	▶ セミナー情報(学生向け) (日本証券業協会)
▶ 東証アカデミー (東京証券取引所)	▶ 小・中・高校生向けプログラム (東京証券取引所)	
▶ 大証セミナー (大阪証券取引所)	▶ 教員向けセミナー (日本証券業協会)	
▶ 投資フォーラム (投資信託協会)		

▲ ページトップへ

読んで学習したい (WEBテキスト)

一般の方向け	教育関係者向け	学生向け
	▶ 金融経済の知識を学ぶ (金融経済、株式、債券、人生設計) (証券知識普及プロジェクト)	
	▶ シェア先生の経済教室 (東京証券取引所)	
▶ ファミリー (暮らしに身近なお金の情報) (金融広報中央委員会)		▶ キッズ (幼稚園、小学生向け) (金融広報中央委員会)
▶ シニア (年金、相続、保険などについて) (金融広報中央委員会)		▶ ヤング (中・高校生から若手の社会人向け) (金融広報中央委員会)
▶ 暮らしとお金 (年金・税金・ローン) (金融広報中央委員会)		
▶ 金融商品なんでも百科 (金融広報中央委員会)		
▶ 株主総会の基礎知識 (東京証券取引所)		
▶ 資産運用をはじめよう (投資信託協会)		
▶ 投資信託を学ぶ (投資信託協会)		
▶ ETFってなんだろう (投資信託協会)		
▶ マンガで学べる投資信託 (投資信託協会)		
▶ J-REIT(リート)を学ぶ (投資信託協会)		
▶ 各種基礎知識 証券知識 、 株式投資 、 投資信託 、 債券投資 (日本証券業協会)		

▲ ページトップへ

■ 学ぶ

投資を学びたい方へ

[動画で学ぶ](#)
[よくわかる証券投資の基礎知識](#)
[証券投資の基礎](#)
[株式投資の基礎](#)
[投資信託の基礎](#)
[債券投資の基礎](#)
[もっと知りたい! Q&A](#)
[各種刊行物](#)
[セミナー・イベント](#)
[金融・証券用語集](#)
[相場格言集](#)

投資者の方へ
Investors

学生・教育関係者の方へ
Students and Educators

市場関係者の方へ
Market participants

報道関係者の方へ
Press

【自主規制】について

会員の平成 25 年 3 月期決算概況（速報値）について

平成 25 年 6 月 18 日
日本証券業協会

1. 全国証券会社（253 社）の決算概況【脚注】

平成 25 年 3 月期の全国証券会社の決算は、受入手数料の増加などにより、当期純損益が、3 期ぶりの黒字転換となった。

この 3 月期決算の概況は以下のとおりである。

- (1) 営業収益は、昨秋以降の新政権や日銀の金融・経済政策への期待感を背景にした株式市場の活況などにより、前期比 4,605 億円増の 3 兆 1,715 億円（前期比 17%増）であった。

その内訳をみると、受入手数料は、委託手数料が同 876 億円増の 4,784 億円（同 22%増）となったことや、投資信託の販売が好調で、募集・売出しの取扱手数料が同 539 億円増の 4,697 億円（同 13%増）となったことなどから、同 1,578 億円増の 1 兆 7,927 億円（同 10%増）となった。

また、トレーディング損益は、株式を始め、債券、為替部門ともに好調で、同 2,597 億円増の 8,959 億円（同 41%増）となった。

- (2) 一方、販売費・一般管理費は、市場の活況による取引量の増加に伴い取引関係費が前期比 338 億円増の 4,339 億円（前期比 8%増）となったものの、人件費が同 131 億円増の 1 兆 93 億円（同 1%増）にとどまったため、全体として同 316 億円増の 2 兆 3,177 億円（同 1%増）と前期並みであった。

- (3) 以上のことから、経常損益は、前期比 3,860 億円増の 6,038 億円（前期比 177%増）、当期純損益は、前期の 257 億円の赤字から 4,558 億円の黒字に転換した。

なお、4,000 億円を超える黒字額の計上は、平成 19 年 3 月期（5,882 億円の黒字計上）以来となった。

【脚注】 平成 25 年 3 月末現在の全国証券会社 261 社のうち、廃業した会社など 8 社を除く 253 社の合算ベース。前年同期（274 社）より 21 社減。

2. 各社の当期損益の状況

決算状況から、全 253 社を当期純損益で利益計上した会社（黒字会社）と損失計上した会社（赤字会社）に区分してみると、188 社が黒字会社（前期比 78 社増）で、全体の 74%を占めている。

なお、7 割以上の会社が黒字を計上するのは、平成 18 年 3 月期以来 7 期ぶりである。

また、全社を国内証券会社（237 社）と外国証券会社（16 社）に区分してみると、国内証券会社のうち 176 社（国内証券会社の 74%）が、また、外国証券会社のうち 12 社（外国証券会社の 75%）が、それぞれ黒字会社であった。

平成 25 年 3 月期の状況

		黒字会社		赤字会社	
		社数	割合	社数	割合
全国	253 社のうち	188 社	74%	65 社	26%
国内証券会社	237 社のうち	176 社	74%	61 社	26%
	本庁監理会社 51 社のうち	41 社	80%	10 社	20%
	財務局監理会社 186 社のうち	135 社	73%	51 社	27%
外国証券会社	16 社のうち	12 社	75%	4 社	25%

（注）「割合」は、各区分の会社数に占める割合。

【参考】

平成 24 年 3 月期の状況

		黒字会社		赤字会社	
		社数	割合	社数	割合
全国	274 社のうち	110 社	40%	164 社	60%
国内証券会社	252 社のうち	97 社	38%	155 社	62%
	本庁監理会社 51 社のうち	29 社	57%	22 社	43%
	財務局監理会社 201 社のうち	68 社	34%	133 社	66%
外国証券会社	22 社のうち	13 社	59%	9 社	41%

（注）「割合」は、各区分の会社数に占める割合。

以 上

会員の平成25年3月期決算概況（速報値）

日本証券業協会
 （単位：百万円）

区分 項目	全 国			国 内 証 券 会 社									外 国 証 券 会 社		
	平25.3月期 (A)	平24.3月期 (B)	(A)／(B)	平25.3月期 (A)	平24.3月期 (B)	(A)／(B)	平25.3月期 (A)	平24.3月期 (B)	(A)／(B)	平25.3月期 (A)	平24.3月期 (B)	(A)／(B)	平25.3月期 (A)	平24.3月期 (B)	(A)／(B)
会 社 数	253社	274社	92%	237社	252社	94%	51社	51社	100%	186社	201社	93%	16社	22社	73%
営業収益	3,171,521	2,710,989	117%	3,107,095	2,604,070	119%	2,718,404	2,274,817	119%	388,691	329,252	118%	64,426	106,918	60%
受入手数料	1,792,739	1,634,921	110%	1,742,766	1,555,656	112%	1,513,173	1,360,331	111%	229,593	195,324	118%	49,973	79,264	63%
（委託手数料）	478,415	390,824	122%	470,500	370,312	127%	365,160	291,628	125%	105,340	78,683	134%	7,915	20,511	39%
（引受け・売出し手数料）	115,822	75,272	154%	115,101	73,178	157%	112,962	71,719	158%	2,139	1,459	147%	721	2,093	34%
（募集・売出しの取扱手数料）	469,737	415,880	113%	469,707	415,472	113%	408,841	367,028	111%	60,866	48,443	126%	30	408	7%
トレーディング損益	895,986	636,269	141%	902,512	631,949	143%	770,463	527,542	146%	132,049	104,406	126%	▲ 6,526	4,320	－
金融収益	440,380	406,652	108%	419,415	383,433	109%	402,927	366,597	110%	16,488	16,836	98%	20,965	23,218	90%
（信用取引収益）	52,012	50,108	104%	51,913	49,914	104%	40,966	38,782	106%	10,947	11,132	98%	99	193	51%
金融費用	274,024	240,013	114%	263,807	224,952	117%	258,216	218,550	118%	5,591	6,401	87%	10,217	15,061	68%
信用取引費用	11,338	12,803	89%	11,238	12,734	88%	7,434	8,528	87%	3,804	4,205	90%	100	69	145%
支払利息	84,678	78,777	107%	83,600	76,200	110%	82,380	74,750	110%	1,220	1,449	84%	1,078	2,577	42%
純営業収益	2,897,400	2,470,964	117%	2,843,193	2,379,106	120%	2,460,164	2,056,266	120%	383,029	322,839	119%	54,207	91,857	59%
販売費・一般管理費	2,317,793	2,286,183	101%	2,271,446	2,192,670	104%	1,946,649	1,859,534	105%	324,797	333,136	97%	46,347	93,513	50%
取引関係費	433,974	400,132	108%	427,893	386,986	111%	362,304	321,519	113%	65,589	65,467	100%	6,081	13,146	46%
人件費	1,009,324	996,225	101%	986,488	947,159	104%	831,184	791,758	105%	155,304	155,400	100%	22,836	49,066	47%
営業損益	579,574	184,780	314%	571,719	186,435	307%	513,502	196,732	261%	58,217	▲ 10,296	－	7,855	▲ 1,655	－
営業外損益	24,250	33,042	73%	24,118	33,623	72%	17,195	27,032	64%	6,923	6,591	105%	132	▲ 581	－
経常損益	603,844	217,823	277%	595,855	220,059	271%	530,699	223,764	237%	65,156	▲ 3,705	－	7,989	▲ 2,236	－
特別損益	8,665	▲ 41,938	－	4,678	▲ 44,948	－	▲ 8,987	▲ 34,005	－	13,665	▲ 10,942	－	3,987	3,010	132%
税引前損益	612,482	175,884	348%	600,507	175,111	343%	521,701	189,759	275%	78,806	▲ 14,648	－	11,975	773	1549%
法人税等	156,559	201,673	78%	156,597	197,175	79%	137,855	186,936	74%	18,742	10,238	183%	▲ 38	4,497	－
当期純損益	455,817	▲ 25,788	－	443,812	▲ 22,064	－	383,826	2,822	13601%	59,986	▲ 24,887	－	12,005	▲ 3,724	－

（注1）平成25年3月末現在の全国証券会社261社のうち、廃業した会社など8社を除く。
 （注2）平成24年3月期は決算概況（確報値）、平成25年3月期は決算概況（速報値）による。